京都府栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT京都）のご紹介

京都府栄養士会は、2013年に「京都府栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT京都）」を設置しました。JDA－DAT京都は、災害時に支援活動の実動の役割を担います。発災後に要請を受け、（公社）日本栄養士会災害支援チーム（ JDA-DAT）と連携して災害支援に入ります。

● JDA-DAT京都 リーダー＆スタッフ数（2026年10月現在）

・JDA-DAT京都 リーダー　14名

・JDA-DAT京都 スタッフ　69名　　合計　83名

・JDA-DAT京都スタッフは、JDA-DATスタッフ養成研修を受講し災害時の栄養支援について専門スキルを学んだ登録者です。

・JDA-DAT京都は、さらにスキルアップをしたJDA-DAT リーダーとJDA-DATスタッフで構成されています。

・定期的に、JDA-DATスタッフ養成研修会を開催しJDA-DAT京都のメンバーを増員しています。



● 災害支援活動のイメージ

京都府内で発災した場合は、京都府からの要請を受け支援活動に入ります。（図１参照）
他都道府県で発災した場合は、日本栄養士会、国（厚生労働省）、被災都道府県知事・被災地災害対策本部などの要請を受け支援活動に入ります。（図２参照）

図１：京都府栄養士会（JDA-DAT京都）の支援活動フロー図

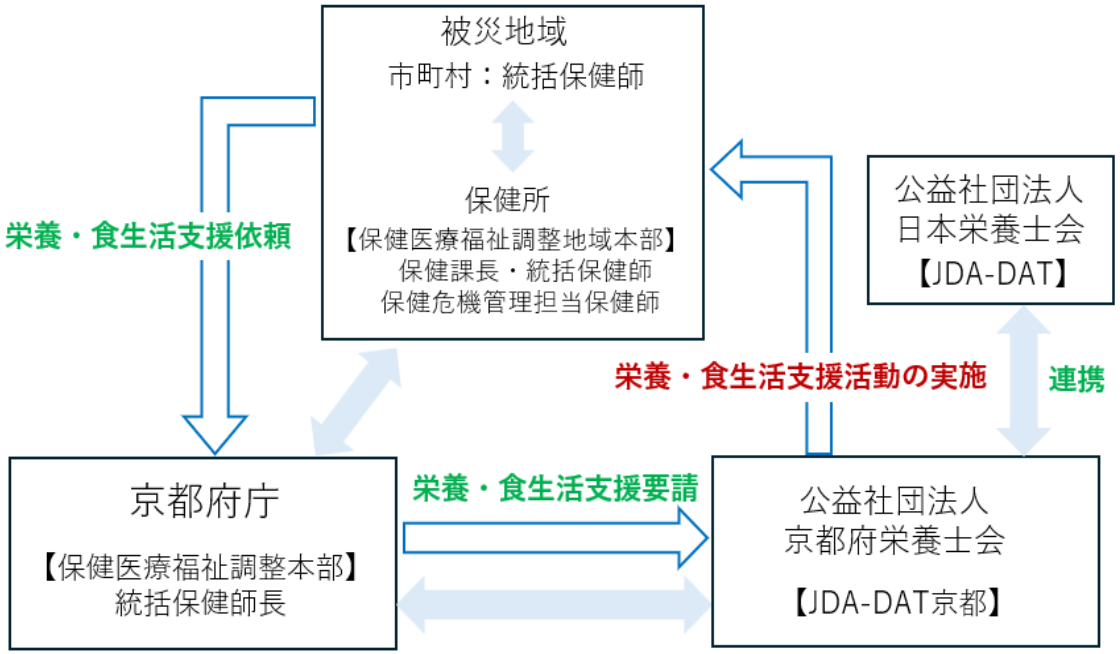
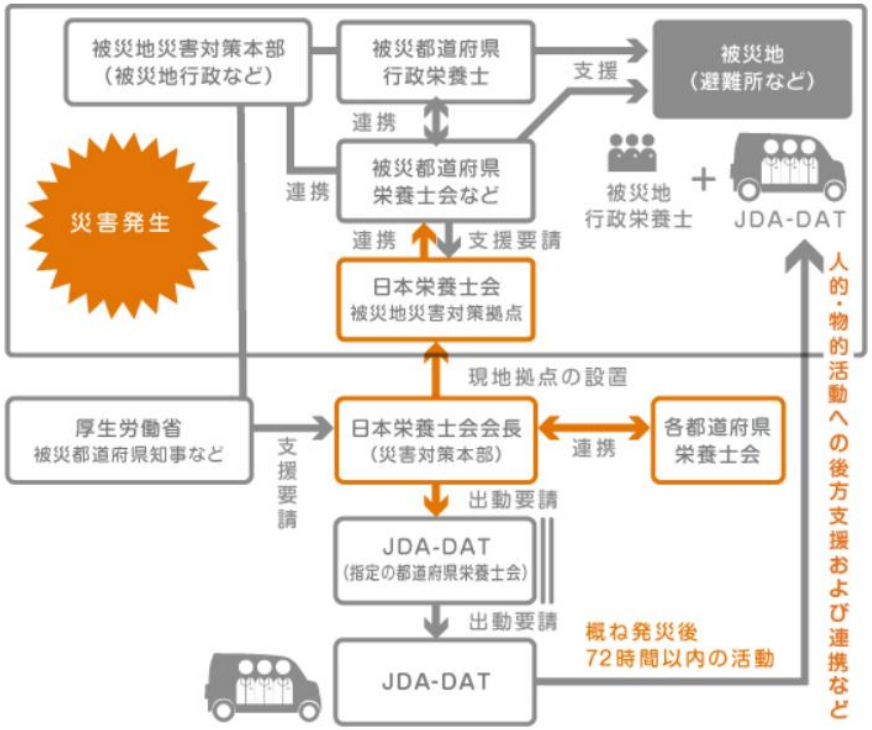


図２：他都道府県で発災した場合の支援活動フロー図



出典：日本栄養士会HP//災害支援より

● 災害支援活動の主な内容

JDA-DATは、被災地において、以下のような人的支援、物的支援を行います。

① **情報収集：**被災地の医療・福祉・行政栄養部門と連携し、情報の収集・伝達・共有化を行います。

② **緊急栄養補給物資の支援(特殊栄養食品ステーション設置)：**必要物資の内容・量を把握し、物資の手配分配の指揮を行います。 特殊な栄養食品などについては、日本栄養士会に支援要請ができる場合もあります。

③ **栄養アセスメント・栄養補給：**被災施設・避難所などで栄養アセスメントを行います。責任者の許可のもと、個人に対して直接栄養補給の支援を行います。

④ **栄養相談：**栄養・食生活に関する相談を行います。

⑤ **対応の困難な被災者への支援：**医療機関への連絡などの対応を行います。

※JDA-DATは急性期からの活動を基本としていますが、災害の規模や状況に応じて全国のJDA-DATに繋げ、長期的支援を行うこともあります。



災害時の活動～能登半島地震での活動～

2024年の能登半島地震では、延べ95日間にわたりフェーズに応じた支援活動に携わりました。避難所への特殊栄養食品の提供（写真①②）、避難所における栄養評価や栄養相談（写真③④）、個別支援（写真⑤）自衛隊の炊き出し視察（写真⑥）、要配慮者の食事提供と栄養管理（写真⑦⑧）など多岐にわたりました。

















平時はこんな活動をしています

京都府総合防災訓練をはじめとする防災に関わる自治体訓練に参加し実践的な訓練を行っています（写真①～④）。その他、 DAT号やJDA-DATの活動紹介、特殊栄養食品の展示、パッククッキングのデモンストレーションなど、地域での防災イベントや防災普及活動など（写真⑤～⑧）も行っています。











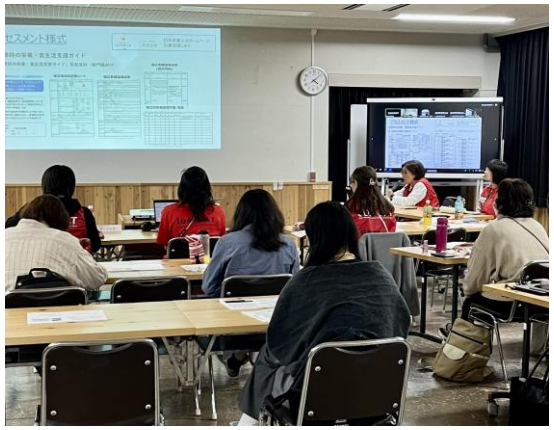






京都府栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT京都）になるには

京都府栄養士会では、定期的に“スタッフ養成研修会”を開催しています。被災地支援における“実践的な知識・心構え・対応方法”を講義で学び、“臨機応変の対応能力、応急措置・救急”の対面での実践・演習研修に参加することで、 JDA-DAT京都スタッフに登録できます。









・この講習は、登録を済ませスタッフとなった方やリーダーの方も受講しスキルアップすることができます。

・スタッフ養成研修会はホームページにて募集案内をいたしますので、受講希望の方は申し込みください。

・養成研修カリキュラムの詳細は次のページをご覧下さい

● 養成研修カリキュラム

養成研修（18時間 ※うち6時間は訓練・演習）

ア、災害への理解（180分）
イ、栄養アセスメント（360分）
ウ、コミュニケーションスキル（180分）
エ、臨機応変の対応能力（180分）
オ、応急処置・救急（180分）

養成研修カリキュラム例（2025年度）

開催回	方法	単元	種別	時間数	実施内容
第一回 9/26	京都市消防局	応急措置/救急	演習	180分	京都市消防局（救命講習）
第二回 10/14～ 31	zoom録画配信	災害への理解	講演	20分	スタッフ研修のオリエンテーション
		災害への理解	講演	60分	京都府の災害リスクと防災の取組
第三回 11/1 （土）	合同1日目 （ハイブリッド形式） 13:00～18:15 山城北保健所大会議室	災害への理解	講義	30分	JDA-DATの理解 〇DATの仕組み・マニュアルの理解
		災害への理解	講義	90分	災害医療・保健・福祉 〇DMAT医師による講演
		栄養アセスメント	講義	90分	避難所での栄養アセスメント（講義）
		コミュニケーション スキル	演習	60分	サイコロジカルファーストエイド サポーターのメンタルヘルス
第四回 11/2 （日）	合同２日目 （集合参加） 9:00～17:00 山城北保健所大会議室	臨機応変の対応能力	演習60分	60分	①事前学習（受援・支援） 〇京都府の地勢を学ぶ 〇府・市町・DATの連携を学ぶ
		栄養アセスメント	演習90分	90分	②災害発生！行政のはたらき～市町と府の連携からDAT要請の流れ
		臨機応変の対応能力	演習60分	60分	②-(2)近隣府県会長会議
					③災害対策本部立ち上げ訓練
		栄養アセスメント	演習90分	90分	近隣府県会長会議
					避難所巡回訓練 〇避難所巡回ー報告 ①各避難所の巡回調査 ②要配慮者への栄養指導
		臨機応変の対応能力	演習60分	60分	
		閉会挨拶			
第五回 12/6 （土）	zoomハイブリッド 12:30-17:00	臨機応変の対応能力	講演30分	30分	災害支援の心構え
		栄養アセスメント	講演90分	90分	1．石川派遣の実際 ①SCの支援 ②能登半島北部支援 ③DHEATの支援
		コミュニケーション スキル	演習120分	120分	2．チームワーク演習 3．現地活動支援演習
		講座のまとめ			

その他の情報

●京都府災害時栄養・食生活支援ガイドライン

☞京都府災害時栄養・食生活支援ガイドライン - 検索

●日本栄養士会災害支援チームとは

☞日本栄養士会災害支援チーム - 検索

●日本栄養士会 災害時栄養・食生活支援ガイド

☞PDF: jdadat_guide_202510.pdf

●お役立ちデータ集

☞PDF:公益社団法人 日本栄養士会

●災害支援関連情報など

☞【JDA-DAT】災害支援活動に係る情報や資料・様式等の関連リンク｜お知らせ｜公益社団法人 日本栄養士会